

**2 病院事業**  
 病院事業はその基本方針である県民医療の普及向上と公共の福祉の増進を図るため、病院の施設及び医療機器の整備充実に努め、高度の診断能力を維持するとともに、患者サービスに万全を期するよう運営しています。  
 平成15年度は、奈良病院の「臨床検査システム」を最新の機器に更新するとともに、三室病院に「診断用血管造影装置」を追加導入し、五條病院には「体外衝撃波結石破砕装置」を新規に導入するなど検査・診断機能の充実を図り、患者サービスの向上に努めました。また、平成16年度より医師の交代臨床研修の義務化に伴い、臨床研修医の受入施設を整備しました。  
 近年の病院事業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、平成13年度を初年度とした5カ年の「経営改善計画」を策定し、現在、この実行に努めておりますが、今後も公共性と経済性の調和を図りながら、病院の効率的な運営に努力し、地域医療の基幹病院として県民医療の一層の充実に努めます。

**第1 事業の概要**  
 1 施設の概要は、次のとおりです。

区分	奈良病院	三室病院	五條病院
所在地	奈良市平松丁目30番1号	生駒郡三郷町三室1丁目14番16号	五條市野原町5丁目2番50号
開設年月日	昭和19年10月1日 (旧病院 昭和39年4月1日)	昭和54年4月1日	昭和47年4月1日
許可病床数	430床(一般病床本院400床、救命救急センター30床)	300床 (一般病床300床)	220床 (一般病床220床)
診療科目	内科・神経内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科	内科・循環器科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科	内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科
看護基準	告示 新看護 2:1 看護	告示 新看護 2:1 看護	告示 新看護 2:1 看護
敷地面積	病院敷地45,091㎡	病院敷地19,744㎡ (うち借地3,759㎡)	病院敷地18,290㎡ (うち借地732㎡) 住宅敷地3,519㎡
病院本館	S R C地上7階地下1階 延23,156㎡	R C地上6階地下1階 延18,796㎡	R C地上4階地下1階 R C地上6階地下1階 延12,580㎡
救命救急センター	R C地上2階 延2,139㎡		R C地上2階 延776㎡
エコーセンター(機械室)	R C地上2階 延1,248㎡	R C地上3階 延2,888㎡	R C地上4階 延3,359㎡
看護学校	R C地上3階一部5階 延3,482㎡	R C地上3階(定員48名) 延1,325㎡	R C地上3階(定員34名) 延1,067㎡
看護師宿舎	R C地上4階(定員96名) 延2,633㎡	地上2階(6戸) 延452㎡	R C地上3階(18戸) 延1,368㎡
医師住宅	R C地上2階(8戸) 延590㎡		
職員住宅	R C地上2階(10戸) 延303㎡	延1,226㎡	C T棟ほか 延506㎡
その他	M R-C T棟ほか 延252㎡	延21,687㎡	延19,656㎡
合計	延33,803㎡		

**2 業務の概要**  
 (1) 事業の概要  
 平成15年度下半期(平成15年10月1日から平成16年3月31日まで)の事業概要は、次のとおりです。

(ア) 外来診療状況 (単位:人)

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
奈良病院	22,709	19,108	21,016	20,438	19,903	23,315	126,489
三室病院	1,032	1,062	1,106	1,076	1,048	1,014	1,054
五條病院	27	18	35	31	24	28	163
合計	1	1	2	2	1	1	1
三室病院	17,626	14,973	16,415	15,965	15,348	18,535	98,862
五條病院	801	832	864	840	808	806	824
合計	10,109	8,669	9,383	9,232	8,669	10,248	56,310
奈良病院	460	482	494	486	456	446	469
合計	50,471	42,768	46,849	45,666	43,944	52,126	281,824
合計	2,294	2,376	2,466	2,403	2,313	2,266	2,349

(イ) 入院診療状況 (単位:人)

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
奈良病院	11,403	11,047	11,189	11,010	10,973	11,730	67,352
三室病院	368	368	361	355	378	378	368
五條病院	749	732	735	859	750	727	4,552
合計	24	24	24	28	26	23	25
奈良病院	7,814	7,919	7,963	8,100	7,850	8,785	48,431
三室病院	252	264	257	261	271	283	265
五條病院	4,733	4,743	4,738	4,925	5,133	5,490	29,762
合計	153	158	153	159	177	177	163
奈良病院	24,699	24,441	24,625	24,894	24,706	26,732	150,097
合計	797	815	794	803	852	862	820

(2) 決算見込み  
平成15年度の決算見込みは、次のとおりです。

(単位：千円)

区分	科目	現計予算額(A)	決算見込額(B)	(B)/(A)%
収益的収入	病院事業収益	20,834,132	20,498,768	98.4
	医業収益	18,360,051	18,199,895	99.1
	医業外収益	2,200,559	2,031,355	92.3
	看護師養成事業収益	273,522	267,518	97.8
収益的支出	病院事業費用	20,834,132	20,552,966	98.7
	医業費用	20,080,615	19,807,485	98.6
	医業外費用	479,995	479,967	100.0
	看護師養成事業費用	273,522	265,514	97.1
資本的収入	病院事業資本的収入	432,000	430,282	99.6
	企業債	432,000	430,000	99.5
	国庫支出金	0	282	-
資本的支出	病院事業資本的支出	1,598,339	1,593,751	99.7
	建設改良費	487,800	483,213	99.1
	企業債償還金	1,110,539	1,110,538	100.0

資本的収入の決算見込額が、資本的支出の決算見込額に不足する額1,163,469千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 570千円、減債積立金 349,000千円及び損益勘定留保資金813,899千円で補てんします。

第2 経理の状況  
平成15年度における経理の状況は、次の残高試算表のとおりです。

残高試算表

(平成16年3月31日)

(単位：千円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
19,954,146	(資産の部)	
15,336,571	固定資産	
15,330,944	有形固定資産	
5,627	無形固定資産	
4,617,575	流動資産	
2,034,436	現金預金	
2,380,837	未収金	
197,302	貯蔵品	
5,000	その他流動資産	
	(負債の部)	3,025,459
	固定負債	771,987
	引当金	625,000
	その他固定負債	146,987
	流動負債	2,253,472
	未払金	2,196,772
	その他流動負債	56,700
	(資本の部)	16,983,688
	資本金	15,525,402
	自己資本金	7,087,032
	借入資本金	8,438,370
	剰余金	1,458,286
	資本剰余金	1,455,217
	利益剰余金	3,069
	(収益の部)	20,476,109
	病院事業収益	20,476,109
	医業収益	18,180,262
	医業外収益	2,028,431
	(費用の部)	267,416
	病院事業費用	
	医業費用	
	医業外費用	
	看護師養成事業費用	
40,485,256	合 計	40,485,256

第3 平成16年度予算の概要及び経営方針  
1 平成16年度奈良県病院事業費特別会計の概要は、次のとおりです。

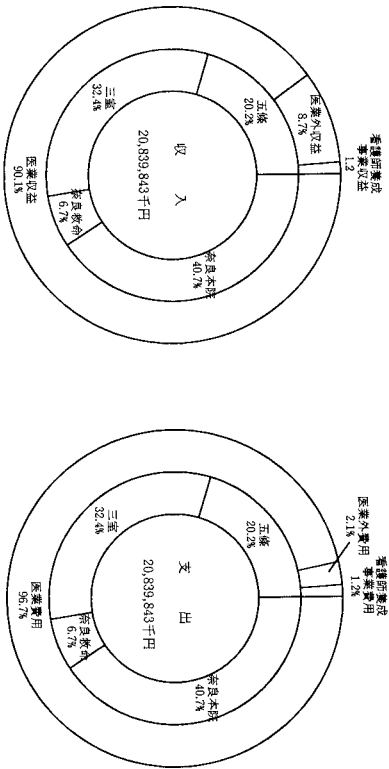
(単位：千円)

区分	科目	予算額	科目	予算額
収益的収支	病院事業収益	20,839,843	病院事業費用	20,839,843
	医業収益	18,773,199	医業費用	20,154,612
	医業外収益	1,819,986	医業外費用	438,573
資本的収支	看護師養成事業収益	246,658	看護師養成事業費用	246,658
	病院事業資本的収入	374,000	病院事業資本的支出	1,533,157
資本的収支	企業債	374,000	建設改良費	400,800
	企業債		企業債償還金	1,132,357
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 1,159,157千円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 492千円、減債積立金3,000千円及び過年度損益勘定留保資金1,155,665千円で補てんします。				
一時借入金限度額		1,000,000千円		
他会計からの負担金及び補助金		1,820,500千円		
たな卸資産購入限度額		6,876,406千円		

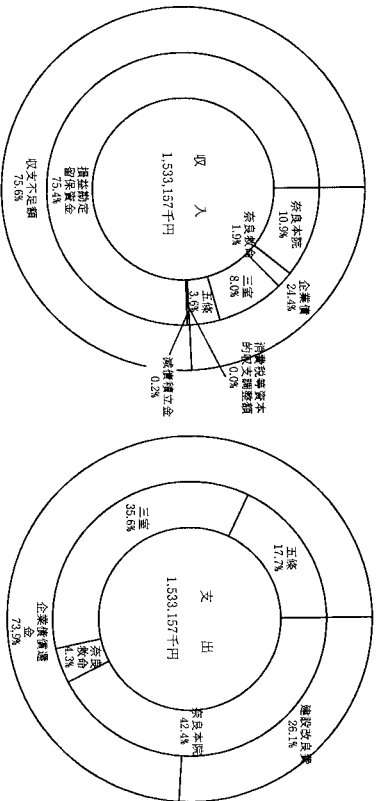
2 経営方針  
病院事業は、県民医療の普及向上と公共の福祉の増進を図るため、施設・設備等の充実に努め、高度の診断能力の維持と患者サービスに万全を期するよう運営しており、各病院とも地域医療の基幹病院として県民の信頼を得るよう努めています。  
本年度は、奈良病院の「シグナレーションカメラ」及び五條病院の「手術顕微鏡」を最新の機器に更新し、検査・診断機能の充実を図りますとともに、医療体制の向上を図るため三室病院の「院内通信設備等」を更新し、患者サービスの向上に努めてまいります。  
なお、近年の病院事業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、引き続き「経営改善計画」の着実な実施に努めます。  
また、県立病院が地域住民の医療ニーズに的確に応えるため、引き続き、良質で安全な医療を提供いたします。

平成16年度奈良県病院事業費特別会計予算の状況

収益的収支



資本的収支



IV 県債及び一時借入金の状況

1 県債の状況

県債は、文教施設、福祉施設、土木施設等の公共施設の建設や災害復旧事業など一時に多額の経費を要し、その事業効果が後年度におよびかつ後年度に県民の応分の負担を求めることが適当な事業の財源に充てるために、県議会の議決や国の許可を受けて借り入れ、一定の割合で償還していく長期の借入金です。

県では、これらの事業完成後における効果、国の地方債計画、また後年度において財源措置が行われる有利な地方債の活用など、将来の財源負担を十分考慮しながら県債を活用しています。

県債の現在高の状況は、第12表のとおりです。

平成14年度末における一般会計の県債の現在高は、8,907億3,142万8千円でしたが、平成15年度中に公共施設の建設や災害復旧費の財源等として借り入れを行い、一方、既に借り入れられている県債の償還を行った結果、平成15年度末の県債の現在高は9,223億1,353万3千円となります。

また、特別会計の14年度末の県債の現在高は743億1,858万5千円でしたが、15年度末では865億2,361万3千円となります。

なお、平成16年度には、第13表のとおり一般会計で892億4,200万円、特別会計で331億6,936万円の県債の借り入れを予定しています。

第12表 事業別県債の現在高の状況

(単位：千円)

区 分	平成14年度末 現在高	平成15年度中 発行額	平成15年度末 元金償還金	平成15年度末 現在高見込み
1 普 通	695,342,479	47,059,656	57,897,156	684,504,979
(1) 土 木	501,098,999	37,734,000	39,560,487	499,272,512
(2) 農 林 水 産	66,596,834	3,387,000	4,501,741	65,482,093
(3) 教 育	43,867,412	2,684,000	4,691,489	41,859,923
(4) 公 営 住 宅	9,648,334	212,000	526,209	9,334,125
(5) 庁 舎	12,094,753	80,000	1,050,123	11,124,630
(6) そ の 他	62,036,147	2,962,656	7,567,107	57,431,696
2 災 害 復 旧 費	5,303,337	462,000	1,002,594	4,762,743
3 そ の 他	190,085,612	53,093,000	10,132,801	233,045,811
(1) 直 轄 事 業 債	94,734,511	8,830,000	7,454,057	96,110,454
(2) 交 付 公 債	96,000	0	0	96,000
(3) 地域財政特別対策債	94,823	0	32,932	61,891
(4) 上 水 道 事 業 債	34,440,592	665,000	826,421	34,279,171
(5) 下 水 道 事 業 債	330,562	0	19,231	311,331
(6) 退 職 手 当 債	571,300	0	156,600	414,700
(7) 減 税 補 て ん 債	20,188,620	2,149,500	1,188,420	21,149,700
(8) 臨 時 税 収 補 て ん 債	4,409,689	0	261,773	4,147,916
(9) 臨 時 財 政 対 策 債	30,380,900	41,448,500	192,625	71,636,775
(10) 特 定 資 金 公 共 投 資 事 業 債	4,838,615	0	742	4,837,873
合 計	890,731,428	100,614,656	69,032,551	922,313,533
特別会計	4,379,135	1,036,000	1,312,948	4,102,187
医科大学整備事業債	28,136,808	9,599,000	1,661,613	36,074,195
附属病院整備事業債	32,515,943	10,635,000	2,974,561	40,176,382
母子福祉資金債	477,300	0	0	477,300
寡婦福祉資金債	96,900	0	0	96,900
農業改良資金債	71,766	0	0	71,766
中小企業高度化資金債	3,973,920	147,150	162,804	3,958,266
用地先行取得債	899,522	0	342,005	557,517
流域下水道事業債	35,571,375	1,823,000	1,772,360	35,622,015
市場事業債	711,859	4,000	166,392	549,467
合 計	74,318,585	12,609,150	5,418,122	86,523,613
総 計	965,050,013	113,223,806	74,450,673	1,003,823,146

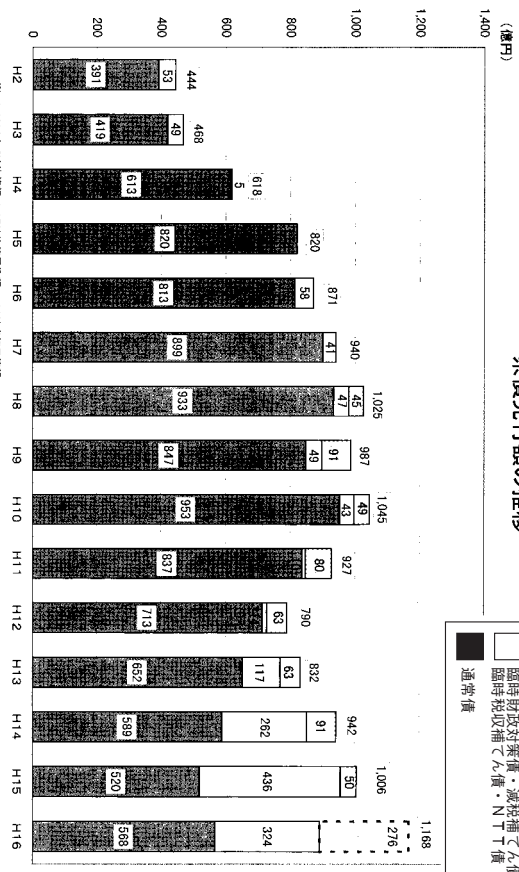
(注) 本表には、企業会計(水道、病院)分は含まれません。

第13表 平成16年度県債事業別予算額

(単位：千円)

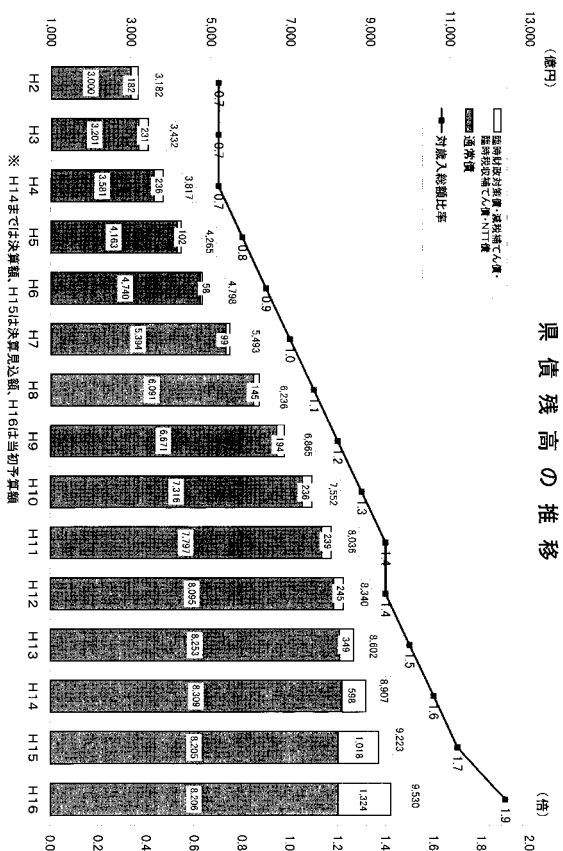
区分	一般会計	特別会計
1 普通債	53,953,000	
(1) 一般公共事業債	19,363,000	
(2) 一般単独事業債	34,164,000	
(3) 公営住宅建設事業債	426,000	
(4) 用地先行取得事業債		
2 災害復旧事業債	490,000	
3 准公営企業債	1,121,000	1,588,000
(1) 下水道事業債		1,588,000
(2) 公有林整備事業債	103,000	
(3) 都市高速鉄道事業債	1,018,000	
4 公営企業債	1,288,000	3,882,000
(1) 上水道事業債	1,288,000	
(2) 病院事業債		3,882,000
5 減税補てん債	2,890,000	
6 臨時財政対策債	29,500,000	
7 その他の特別債		111,000
(1) 農業改良資金債		111,000
(2) 中小企業高度化資金債		
8 付換債		27,588,360
9 交付公債		
計	89,242,000	33,169,360

県債発行額の推移



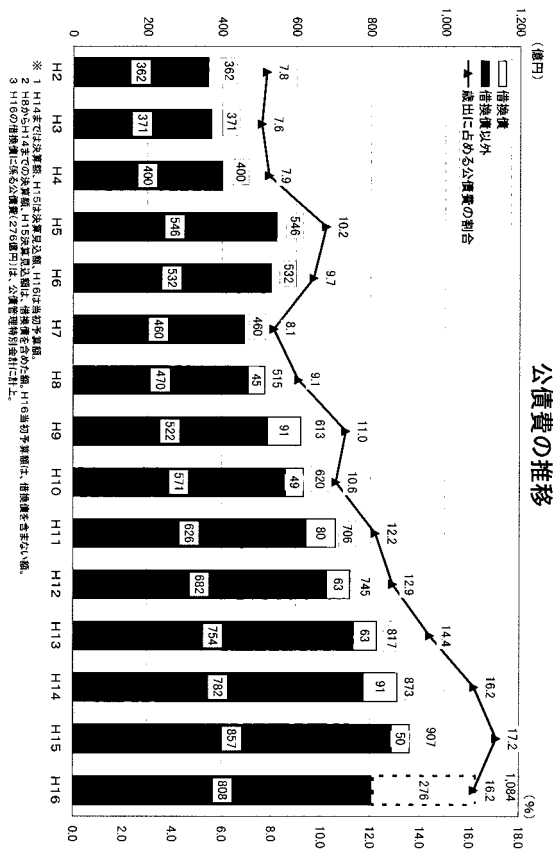
※ 1 H14年度は、H15年度に繰り越したH16年度分を計上。  
 ※ 2 H16年度は、H15年度に繰り越したH16年度分を計上。  
 ※ 3 H16年度の世帯数(276世帯)は、公債発行開始年度に計上。

県債残高の推移



※ H14年度は決算額、H15年度は決算見込額、H16年度は当初予算額

公債費の推移



【定価】 一か月 千五百円 一部売り 一枚につき二十円 (共に送料、消費税別)

2 一時借入金金の状況

一時借入金金は、年間の予算執行にあたり歳計現金が一時的に不足する場合に、短期の借入れを行うものであり、平成15年10月から平成16年3月までの間における各月末の一時借入金金の現在高は、第14表のとおりです。

なお、各月における収入・支出の確な把握を行い、効率的な資金管理・運用に努めています。

第14表 一時借入金現在高の状況

(単位: 百万円)

区 分	現 在		計
	一般公計	用地先行取得費特別会計	
平成15年10月末日	0	0	0
平成15年11月末日	0	0	0
平成15年12月末日	0	0	0
平成16年1月末日	0	0	0
平成16年2月末日	0	0	0
平成16年3月末日	0	0	0

発行

奈良県

奈良市登大路町三〇  
電話 〇七四二一一三一一一〇二代

印刷

株式会社 春日

奈良市三条栄町九一八  
電話 〇七四二一一三五七七三二代

本誌は再生紙を使用しています。